

やまいのはなし

2014年11月号

内科・循環器内科・リハビリテーション科

森 医 院

<http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

Pickup!

(114) 柴苓湯 (さいれいとう)

構成生薬	<small>たくしゃ</small> 沢瀉, <small>おうこん</small> 黄芩, <small>さいこ</small> 柴胡, <small>ちよれい</small> 猪苓, <small>ぶくりよる</small> 茯苓, <small>かんそう</small> 甘草, <small>にんじん</small> 人参, <small>しょうきよう</small> 生姜, <small>げいひ</small> 桂皮 <small>そうじゆつ</small> 蒼朮, <small>たいそう</small> 大棗, <small>はんげ</small> 半夏
効果・効能	吐き気, 食欲不振, のどの渇き, 排尿が少ないなどの次の諸症 水瀉性下痢, 急性胃腸炎, 暑気あたり, むくみ

柴苓湯は、(9)小柴胡湯しょうさいことうと(17)五苓散ごれいさんを合わせたものです。

小柴胡湯は風邪の中期に使われる方剤で、炎症を抑えます。五苓散は体内の水分調節を助ける方剤です。

このため、柴苓湯は炎症によって水の代謝が悪くなっている病態に用いられます。

このような病態の一つとして、抗炎症効果と抗浮腫作用を期待して慢性腎炎に投与されます。

ただし、慢性腎炎のような病態には西洋薬治療が優先されるべきで、それでも効果が足りない場合や、ステロイド薬の減量のための補助療法として使われるのが本来であると考えます。漫然と長期にわたって投与する方剤ではありませんので、注意が必要です。